

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課		■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	トリエンナーレ・きたかみ開催費補助金			
■評価事業コード	400300 - 078	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	01 芸術文化活動の推進		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	全国的な絵画公募展の開催を通して、市民の美術に対する意識の高揚と芸術文化の振興を図るとともに、日本芸術大賞に輝く利根山光人画伯の芸術活動の顕彰、利根山光人記念美術館の全国への周知等全国に向けた北上市の情報発信、優秀作品の買い上げによる美術品の収集・蓄積を図る。利根山光人記念大賞展トリエンナーレ・きたかみ開催補助金5,000,000円			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	トリエンナーレ・きたかみ開催費補助金	実行委員会		<ul style="list-style-type: none"> ・出品点数172点 出品者数119人 ・審査会開催2日間 ・実行委員会開催2回 表彰式開催 ・入賞入選作品展開催7日間(入場者数709人) ・入賞入選作品集作成販売(販売数62冊)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,000		650	5,000	
人件費					
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,000		650	5,000	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	公募案内発送数			1286		全国の美術館、記念館、専門大学等に発送。(22年度はなし)
03	応募作品数	217			172	第1部門「祭」145点、第2部門「自由テーマ」127点

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全国29都道府県からの応募があった。20～70代と幅広い年齢層からの出品があったことから、この公募展の認知度が高くなっていると考えられる。

問題点・課題等

公募展開催に係る費用。市内で審査会を開催できる会場の確保。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

入賞入選作品展と合わせて「まちなかギャラリー」を開催した。